



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月2日

上場会社名 OKK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6205 URL <http://www.okk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮島 義嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 道岡 幸二 (TEL) 072-771-1159
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	19,446	12.2	830	50.8	768	△25.2	531	△39.4
27年3月期第3四半期	17,326	11.4	550	98.5	1,028	54.2	877	37.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 595百万円(△63.0%) 27年3月期第3四半期 1,608百万円(73.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	6.72	—
27年3月期第3四半期	11.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	49,983	22,173	44.4
27年3月期	50,096	21,738	43.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 22,173百万円 27年3月期 21,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	8.2	1,600	27.7	1,600	2.6	1,200	0.7	15.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	81,465,568株	27年3月期	81,465,568株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,424,816株	27年3月期	2,411,522株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	79,047,878株	27年3月期3Q	79,065,327株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は自動車・航空機を中心に概ね堅調さを維持しており、欧州は債務問題に加え難民問題などの地政学的リスクによる先行きの不透明感はありましたが、引き続き緩やかな回復基調を維持しました。しかし、中国は経済の先行き懸念から生じた株価下落に見られるように減速が明確になり、その他の諸国も合わせたアジア全体は、総じて減速傾向で推移しました。一方、我が国経済は、政策効果にも支えられ企業の設備投資意欲は底堅く、工作機械受注は堅調に推移しておりますが、期の後半にかけて中国市場低迷の影響を受け、足元は不透明感が広がりつつあります。

このような状況下、当社グループでは主力の工作機械部門において、当第3四半期連結累計期間における国内の売上高は、7期ぶりに90億円台を達成しました。米国では営業力の強化・戦略の再構築を図り、好調に推移する自動車・航空機向けの販売に注力しました。7月には、工作機械の無償保証期間を従来1年間から3年間に延長した「3年間安心保証制度」を開始、顧客サービスの一段の向上を図りました。また、10月にイタリアのミラノで開催されたEMO2015では、航空機部品を中心とした中大物ワークの複雑な形状加工が可能な5軸制御横形マシニングセンタHM-X8000と旋削機能を付加した5軸制御立形マシニングセンタVC-X500L、量産部品加工市場をターゲットとした横形マシニングセンタHMC500の3機種を出展し活発な商談を行いました。更に、11月には本社工場において、「重切削・高剛性の百年品質」をメインテーマに創業百周年記念展示会を開催、ベストセラー立形マシニングセンタVM53Rの要素別展示を行うなど、OKKのものづくりを来場者の皆様に体感していただきました。これらを含めた国内外の各種展示会を通して、OKKのブランド力である高剛性・重切削機種を中心に展示し、更なる拡販に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、19,446百万円（前年同期比12.2%増）となり、営業利益は830百万円（前年同期比50.8%増）、経常利益は768百万円（前年同期比25.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は531百万円（前年同期比39.4%減）となりました。

なお、当社は平成27年6月26日開催の第157回定時株主総会の決議により、平成27年10月1日をもって商号を「大阪機工株式会社」から「OKK株式会社」へ変更いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は49,983百万円となり、前連結会計年度末と比較して113百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1,041百万円、有形固定資産の減少277百万円、たな卸資産の増加1,167百万円などによるものであります。

負債は27,809百万円となり、前連結会計年度末と比較して548百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金の減少190百万円、未払法人税等の減少94百万円、借入金の減少51百万円などによるものであります。

純資産は22,173百万円となり、前連結会計年度末と比較して435百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上531百万円、退職給付に係る調整累計額の増加97百万円、配当金の支払による減少158百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点においては平成27年5月13日公表いたしました数値から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,619	4,651
受取手形及び売掛金	7,733	6,692
たな卸資産	10,478	11,645
その他	741	496
貸倒引当金	△24	△35
流動資産合計	23,549	23,450
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,432	15,432
その他(純額)	7,043	6,766
有形固定資産合計	22,475	22,198
無形固定資産	492	603
投資その他の資産		
投資有価証券	3,135	3,100
その他	458	645
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	3,579	3,731
固定資産合計	26,546	26,532
資産合計	50,096	49,983
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,764	5,110
短期借入金	6,200	6,419
未払法人税等	136	42
賞与引当金	271	81
製品保証引当金	68	78
その他	1,895	1,463
流動負債合計	13,338	13,196
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	4,425	4,155
再評価に係る繰延税金負債	4,768	4,768
退職給付に係る負債	3,867	3,881
その他	1,857	1,708
固定負債合計	15,019	14,613
負債合計	28,358	27,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,283	6,283
資本剰余金	1,455	1,455
利益剰余金	4,035	4,408
自己株式	△533	△535
株主資本合計	11,240	11,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,034	997
土地再評価差額金	9,517	9,517
為替換算調整勘定	141	144
退職給付に係る調整累計額	△196	△98
その他の包括利益累計額合計	10,497	10,561
純資産合計	21,738	22,173
負債純資産合計	50,096	49,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	17,326	19,446
売上原価	13,234	14,829
売上総利益	4,091	4,616
販売費及び一般管理費	3,541	3,786
営業利益	550	830
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	40	49
為替差益	542	—
売電収入	2	21
その他	7	6
営業外収益合計	597	86
営業外費用		
支払利息	98	98
為替差損	—	11
その他	21	38
営業外費用合計	120	147
経常利益	1,028	768
特別利益		
有形固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
社名変更費用	—	81
事業整理損	—	9
有形固定資産処分損	8	1
特別損失合計	8	92
税金等調整前四半期純利益	1,020	676
法人税、住民税及び事業税	163	163
法人税等調整額	△20	△18
法人税等合計	142	145
四半期純利益	877	531
親会社株主に帰属する四半期純利益	877	531

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	877	531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	444	△36
為替換算調整勘定	198	3
退職給付に係る調整額	88	97
その他の包括利益合計	731	64
四半期包括利益	1,608	595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,608	595
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。